

雲鷹丸の歴史に ついて

大塚一志 (2漁大)



雲鷹丸の歴史-就航百周年記念展

附属図書館 2009/11/6(金)～2010/2/25(木)



現在の雲鷹丸



学内の雲鷹丸の説明板

雲鷹丸 (UNYO MARU)

登録有形文化財（登録番号第13-0042号 平成10年12月11日登録）

長さ	136フィートー 2インチ (41.2メートル)	総トン数	444.25GT
幅	28フィートー 6インチ (8.7メートル)	3連成汽機	303馬力…… 1基
深さ	16フィートー7.5インチ (5.0メートル)	汽缶……	2基 搭載艇…… 6艇
最大搭載人員	81人 (職員：15人 部員：26人 学生：40人)		
造船所	株式会社大阪鉄工所 桜島工場 (1909年5月12日竣工)		

雲鷹丸は、東京水産大学の前身 農商務省水産講習所の第2代練習船である。初代練習船 快鷹丸(木造帆船 総トン数137.66トン)からその用務を引継ぎ、1909年5月30日出帆の第1次航海から1929年8月までほぼ20年間就航した。第33次航海を終了後に第3代練習船 白鷹丸(鋼製汽船 総トン数1,327.78トン)に実習航海を引継ぎ、当時の母校所在地であった越中島茅壁において係留練習船として学生の実習に供された。第二次世界大戦終了後の混乱期を経て、さらに学舎の移転等の諸事情により整備・管理が不十分なまま放置されていたが、昭和37年に喫水線上部の船体が現在の所在地に移設され、マスト・ヤード等の復元、船体及び設備等の補修が加えられ、現在に至っている。

雲鷹丸の原型を再現するためには多くの補修及び整備が必要であるが、水産資料館に展示されている資料及び記録等が現役時代の英姿として参考に供することができよう。

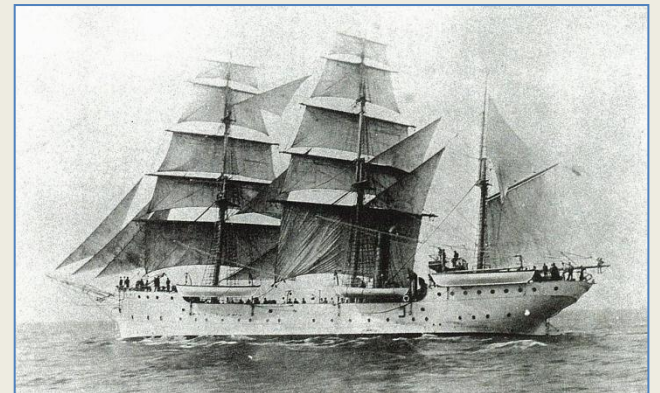
雲鷹丸は、学生の教育・実習を目的とした練習船であったが、試験操業、海洋調査等多目的の調査研究船としての機能をも兼ね備え、北洋及び南洋海域を含む広大かつ長期にわたる遠洋航海の航跡を残し、我国の水産業の発展・振興に多大なる貢献をした。これらの実績が評価され、現在この地に船体保存という形で継承されている。

雲鷹丸で実習航海を修了した600余名の卒業生は、錬磨された操船法・漁法のほか、基礎的な学理に基づく技術革新の知識を修得し、実社会に送り出された。そして彼らは、日本の漁業界を啓発主導し、幾多の功績をあげ、社会・産業の発展に大きく寄与した。また、搭載された最高水準の漁撈及び観測機器による調査研究の成果は、海洋、漁場等に関する科学の基礎を確立するとともに、操船技術の革新、漁具、漁法の改良、開発等に活用された。また、船体構造、材料及び艀装仕様並びに運用要領等は、現在も貴重な海事史的価値として評価が高い。

雲鷹丸は、1998年12月11日付けて文化財保護法の規定に基づく登録有形文化財に登録され、東京水産大学の教材・研究資料としてのみならず、国民全体の文化資産としてここに保存されることになった。

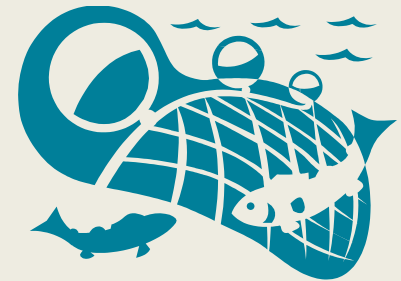
雲鷹丸の要目

- 3本マスト バーク型帆船
- 長さ 136フィート 2インチ (41.2 m) 総トン数 444.25 GT
- 幅 28フィート6インチ (8.7 m) 3連成汽機 303馬力 1基
- 深さ 16フィート7.5インチ(5.0 m) 汽缶 2基 搭載艇 6艇
- 最大搭載人員 81人 (職員15人、部員26人、学生40人)
- 造船所 株式会社大阪鉄工所 桜島工場 (1909年5月12日 竣工)
- 昭和37年 70周年記念事業の一つとして現在地に移設



雲鷹丸の航海目的

- 漁業練習船 水産試験船 海洋調査船
- 「続北航見聞録」(一) 魚游子(丸川久俊) 水産界 411, 1916
- 航海・運用に関する実地練習
- 諸種の漁業実習
- 海洋に関する諸種の観測
- 生物の採集や調査

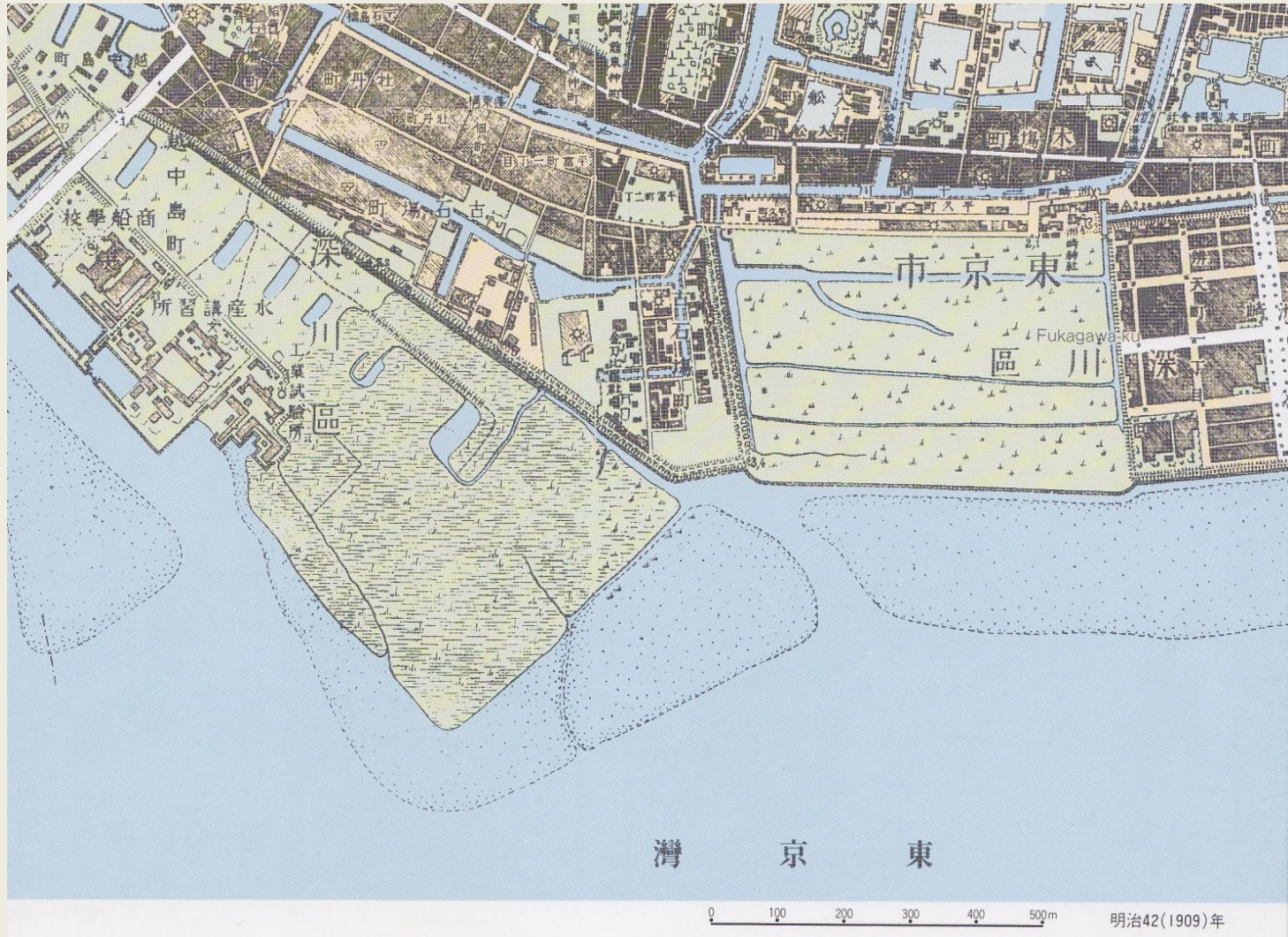


丸川久俊 明治15年(1882)-昭和33年(1958)享年77歳

- 島根県浜田出身。明治37年水産講習所養殖科卒業(養殖7回)
- 明治39年同研究科修了。同所技手。
- 明治43年ドイツ、ノルウェー留学。同45年帰国。
- 大正2年雲鷹丸による黄海東海漁場調査に初めて硝酸銀滴定による海水塩分測定法を導入。
- 「海洋学」「浮遊生物学」「漁場論」担当。
- 丸川式採水器、開閉式プランクトンネット、電動式測深機を開発。
- 昭和4年水産試験場技師。水産講習所海洋学教室主任。
- 昭和14年退官。

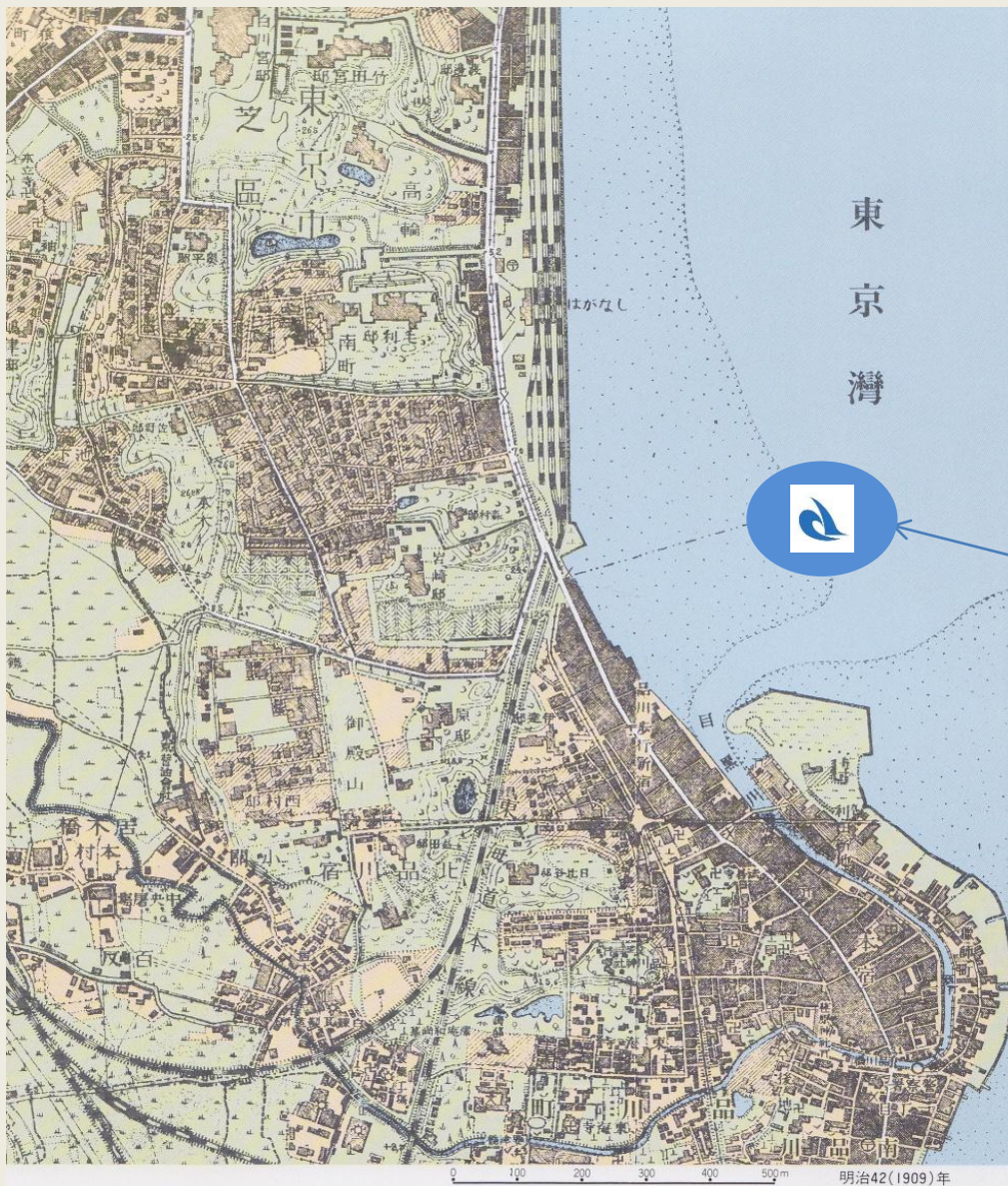
「楽水の人びと抄」(2005)

東京市 深川区 越中島付近地図 明治42年



東京市 芝区 品川駅付近地図

明治42年



東京湾

現在の東京海洋
大学品川キャンパ
スはこのあたり

アトラス東京
地図でよむ江戸～東京
平凡社(1986)

雲鷹丸の航海一覽 1/2

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
明治42年 1909		22 進水式			8	25	10			25	30	
					[1次]	金華山沖		[2次]	金華山沖	北洋		[3次]
明治43年 1910			28				6			21	15	
	[3次]	南洋					[4次]	北洋				[5次]
明治44年 1911			26				8			28		
	[5次]	朝鮮	北九州				[6次]	北洋				
明治45年 1912			2			21	10			31		
			[7次]	南洋				[8次]	北洋			
大正元年 大正2年 1913	15					22	13			18		
		[9次]	北九州	朝鮮				[10次]	北洋			
大正3年 1914				25	14	17	22	9		14		
				[11次]			[12次]		[13次]	北洋		
				本州南方			外房沖					
大正4年 1915		17					20	10		29		
			[14次]	中国	南洋				[15次]	北洋		
大正5年 1916			2		2	27				28		
			[16次]	日向灘					[17次]	北洋		
大正6年 1917					24					30		
								[18次]	北洋			
大正7年 1918					30					26		
								[19次]	北洋			

雲鷹丸の航海一覽 2/2

大正8年 1919					25				13		
								[20次] 北洋			
大正9年 1920						1					13
								[21次] 南洋			
大正10年 1921						1			17		16
								[22次] 北洋			[23次]
大正11年 1922			18			10			2		20
	[23次]	南洋						[24次] 北洋			
大正12年 1923			3			11			23		
	[25次]	南洋						[26次] 北洋			
大正13年 1924					14 30			28	14		4 17
					[27次]			[28次]	[29次]		近海
					近海			近海			
大正14年 1925						20			5		3
								[30次] 北洋			[31次] 南洋
大正15年 1926			15			1			16		3
	[31次]	南洋						[32次] 北洋			[33次] 南洋
昭和元年 昭和2年 1927			26								26
	[33次]	南洋				11			20		
								[34次] 北洋			
昭和3年 1928			21						30		
	[35次]	南洋				17					
								[36次] 北洋			

表 雲鷹丸航海の概要 1/2

航海	出航	帰港	航海日数	方面	漁業実習	海洋調査	主な寄港地
第1次	M42.5.8	M42.6.25	49	金華山沖	捕鯨		萩ノ浜
第2次	M42.7.10	M42.10.25	108	金華山沖 北洋	捕鯨 たら釣		室蘭 幌筵島 大泊 小樽 函館
第3次	M42.11.30	M43.3.28	119	南洋	さめ延縄 とびうお流網		クサイエ ポナペ サイパン グアム
第4次	M43.7.6	M43.10.21	108	北洋	捕鯨 たら手釣		室蘭 幌筵島 函館
第5次	M43.11.15	M44.3.26	132	朝鮮・北九州	捕鯨 さわら流網		釜山 方魚津 厳原 長崎 那覇
第6次	M44.7.8	M44.10.28	113	北洋	捕鯨 たら漁	◎	占守島 大泊 稚内 小樽
第7次	M45.3.2	M45.6.21	112	南シナ海	流網	◎	基隆 高雄 香港 マニラ 鹿児島
第8次	M45.7.10	T1.10.31	114	北洋	捕鯨 たら漁	◎	ニコライカ 幌筵島 大泊 小樽
第9次	T2.1.15	T2.6.22	159	北九州・朝鮮	漁業取締り	◎	長崎 博多 厳原 知世浦 釜山
第10次	T2.7.13	T2.10.18	98	北洋	かに刺網 たら漁	◎	大泊 小樽 占守島 幌筵島
第11次	T3.4.25	T3.5.14	20	本州南沖	[実施せず]	◎ 24点	和歌山大島 三重浜島
第12次	T3.5.17	T3.6.22	37	外房沖	かつお巾着網		下田 八丈島 伊豆大島
第13次	T3.7.9	T3.10.14	98	北洋・三陸沖	流網 トロール	◎ 32点	幌筵島 大泊 小樽 青森 函館
第14次	T4.2.17	T4.6.20	124	中国・南洋	まぐろ延縄	◎	木浦 青島 ポナペ サイパン
第15次	T4.7.10	T4.10.29	112	北洋・日本海	たら釣 トロール 流網	◎	根室 幌筵島 大泊 ウラジオ 函館
第16次	T5.3.2	T5.5.2	62	日向灘	まぐろ延縄		門司 油津 枕崎 長崎 下関
第17次	T5.5.27	T5.10.28	155	北洋・三陸沖	たら釣 トロール 流網	◎ 70点	幌筵島 大泊 敷香 小樽 函館
第18次	T6.5.24	T6.10.30	160	北洋・三陸沖	たら釣 トロール 流網	◎ 76点	函館 室蘭 幌筵島 大泊 小樽 鮎川

表 雲鷹丸航海の概要 2/2

航海	出航	帰港	航海日数	方面	漁業実習	海洋調査	主な寄港地
第19次	T7.5.30	T7.10.26	150	北洋	たら釣 流網		幌筵島 大泊 小樽 函館 鮎川
第20次	T8.5.25	T8.10.13	142	北洋	たら釣 かに刺網 流網		門司 釜山 ウラジオ 小樽 大泊 函館
第21次	T9.6.1	T9.12.13	196	南洋	かつお まぐろ		ポナペ パラオ シンガポール 香港
第22次	T10.6.1	T10.8.17	78	北洋	たら釣 トロール 流網		幌筵島 大泊 小樽 函館 釜石
第23次	T10.11.16	T11.3.18	123	南洋	まぐろ延縄 トロール		ハワイ サイパン 長崎 油津
第24次	T11.6.10	T11.9.2	85	北洋	たら釣 流網		宮古 幌筵島 小樽 函館 女川
第25次	T11.12.20	T12.3.3	74	南洋	まぐろ延縄 トロール		父島 那覇 上海 博多 下関
第26次	T12.6.11	T12.8.23	74	北洋	たら釣 流網 かに刺網		函館 小樽 大泊 室蘭
第27次	T13.5.14	T13.5.30	17	近海		◎	女川 宮古 釜石
第28次	T13.7.28	T13.8.14	18	近海		◎	女川 宮古
第29次	T13.11.4	T13.11.17	14	近海		◎	宮古
第30次	T14.6.20	T14.9.5	78	北洋	おひょう延縄 かに刺網 さけ流網		幌筵島 小樽 函館 女川
第31次	T14.11.3	T15.2.15	105	南洋	まぐろ延縄	◎	サイパン パラオ メナド 高雄
第32次	T15.5.1	T15.9.16	139	北洋	かに刺網 トロール 流網		幌筵島 ウスカムチャッカ ゼルヤ 大泊
第33次	T15.11.3	S2.2.26	116	南洋	まぐろ延縄 20回		ヤルト ホナハ サイパン 長崎 鹿児島
第34次	S2.6.11	S2.9.20	102	北洋	かに刺網 さけ流網 たら手釣 まぐろ延縄		幌筵島 ヘトロハウロク ゼルヤ 根室
第35次	S2.11.26	S3.3.21	117	南洋	まぐろ延縄 18回		ホカアック ビツカル クリスマス アルノ ホナハ
第36次	S3.6.17	S3.9.30	106	北洋	たら釣 流網 かに刺網		函館 根室 幌筵島 大泊 小樽

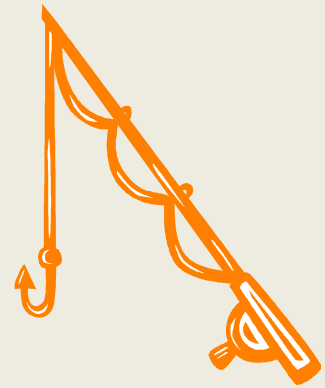
霧中航海 雲鷹丸 第17次航海

- 大正5年6月11日 室蘭港を発し、帆走に移りてより(北千島)幌筵島村上湾入港の6月22日の朝までといふものは山陸は言はずもがな、航海者が最も頼りとする太陽も唯の一度も姿を現さないのので、日々における正午位置は推測にのみよりて算出せられるといふ有様であった。
- 毎日毎晩濃霧また濃霧で、本船は朝から晩まで数分置きに、船首にホッグホンを据へて学生や水夫を30分交代にして絶へずブウブウブウと連吹せしめつつ航海しているのである。

魚游子 續北航見聞録(三) 水産界, 413, 137-141, 1917

漁法からみた雲鷹丸の漁業実習

- 刺網 さけ・ます流網 にしん流網
さんま流網 かに刺網
- 曳網 ビームトロール
- 旋網 かつお巾着網
- 釣 たら一本釣 おひょう一本釣
かつお一本釣 まぐろ延縄
- 銛 捕鯨



北航見聞録

魚游子 (丸川久俊) 水産界 399~407, 1915~1916 第15次航海 大正4年7月10日~

- 其一 南航北走の雲鷹丸 館山より根室迄 沖の鯷には鱗が無い
- 其二 昆布の薄生と流氷 根室地方の蟹缶詰業 根室より幌筵島へ
- 其三 村上湾 定期航路開始と千島列島の開発
- 其四 千島列島のラッコ船の沿革(三) 益々北航
- 其五 オコツク海の珍味 クラゲの大傘下集るタラの児
- 其六 蟹の山、忍路丸来る 盛夏8月尚流氷あり
- 其七 ニシン流網試験 大泊所見
- 其八 小樽より烏港まで 烏港の4日間
- 其九 烏港見物の第3日 烏港出帆—さらば友よ

續北航見聞録

魚游子(丸川久俊) 水産界 411~419, 1916~1917 第17次航海 大正5年5月27日~

- (一) 品川湾抜錨 館山の2日間
- (二) 館山より室蘭迄 変化の多き金華山沖 眼の大きな深海魚と発光する提灯魚
- (三) 室蘭の5日 室蘭より幌筵島(上)
- (四) 室蘭より幌筵島(下) 村上湾碇泊一週間 親潮流域中の観測 村上湾着
- (五) 村上湾碇泊一週間(下) オコツク海横断観測
- (六) 堪半島西岸沖合に於ける縫航生活 流網試漁大成功 タラ釣と技術巧拙の疑問 暴風襲来カニ網収容不能 搜索奏効而して大漁
- (七) 堪半島西岸沖合に於ける縫航生活(つづき)
- (八) 堪半島西岸沖合に於ける縫航生活(つづき)
- (九) 樺太東岸の縫航足跡

雲鷹丸 第15次航海 大正4年 オホーツク海における漁業実習

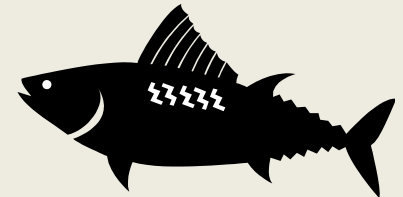
時刻	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
8月3日									タラ釣 360尾															
8月4日																				マス流網 200尾				
8月5日						タラ釣 570尾							抜錨					キシカ沖仮泊						
8月6日						釣 オヒョウ 10数尾														マス流網 17尾				
8月7日				南西の風浪甚し																				
8月8日				南西の風浪甚し																				
8月9日																								
8月10日						タラ釣り 1,851尾															流網 サケ 1尾			
8月11日						タラ釣り 1,078尾															カニ刺網			
8月12日																								
8月13日							タラ釣り 801尾															南東に転錨		
8月14日				南東の強風連吹																				
8月15日				南東の強風連吹																				
8月16日																ビームトロール カレイ300尾					マス流網 漁獲なし			
8月17日						抜錨			タラ釣 593尾										抜錨		ビームトロール			
8月18日																					タラバガニ100 カレイ1,000			
8月19日																								
8月20日																								
8月21日																								
8月22日													占守島片岡湾に転錨					抜錨		帆走				

雲鷹丸 第30次航海 大正14年 オホーツク海における漁業実習

時刻	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23								
7月16日						オヒョウ延縄																										
7月17日						漁場波浪大なるため出漁中止																										
7月18日						オヒョウ延縄																										
7月19日								オゼルナヤに転錨																								
7月20日								転錨	工場見学										カニ刺網													
7月21日						オヒョウ延縄																										
7月22日						オヒョウ延縄																			サケ流網							
7月23日					オヒョウ延縄																											
7月24日					オヒョウ延縄										北方に転錨																	
7月25日					オヒョウ延縄															サケ流網												
7月26日						北方に転錨																サケ流網										
7月27日					オヒョウ延縄									オヒョウ延縄								サケ流網										
7月28日					オヒョウ延縄									カニ刺網				北方に転錨														
7月29日					オヒョウ延縄				北方に転錨				オヒョウ延縄					サケ流網														
7月30日	サケ流網					北方に転錨																サケ流網										
7月31日	サケ流網				オヒョウ延縄				北方に転錨				オヒョウ延縄					サケ流網														
8月1日	北方に汽走					帆走								汽走					投錨													
8月2日								蟹工船樺太丸見学														サケ流網										
8月8日	北千島 幌筵島 村上湾に投錨																															

雲鷹丸のまぐろ延縄漁業実習

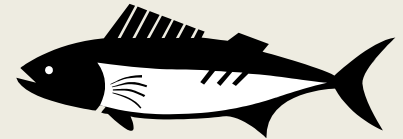
- 第14次航 大正4年5月 東カロリン群島
- 第16次航 大正5年3月 日向灘
- 第23次航 大正11年1月 ハワイ沖 4回
- 第31次航 大正14年12月～15年1月 パラオ諸島 4回、ミンダナオ東沖 11回
- 第33次航 大正15年12月～昭和2年1月 マーシャル諸島 19回
- 第35次航 昭和2年12月～3年1月 マーシャル諸島 18回



雲鷹丸 第12次航 カツオ巾着網 漁業実習

大正3年5月17日～6月22日

- 5月23日 6時浦賀抜錨。08:30館山到着。下田技師、巾着網漁夫8名乗組み、巾着網搭載す。
- 5月28日 館山にて追加漁夫4名を傭上ぐ。
- 5月29日 02:30館山発、16時鴨川沖にて投網、41尾漁獲。
- 6月1日 九十九里浜沖にて投網し、187尾漁獲。
- 6月11日 伊豆大島の南にて3回投網し、1,600余尾漁獲。
- 6月15日 房総鴨川沖にて3回投網し、10,100余尾漁獲。
- 6月19日 勝浦の南西7海里にて投網し、ソウダカツオ数尾を漁獲。
- 6月22日 9時館山抜錨。14時品川沖に投錨。17時生徒全部退船。

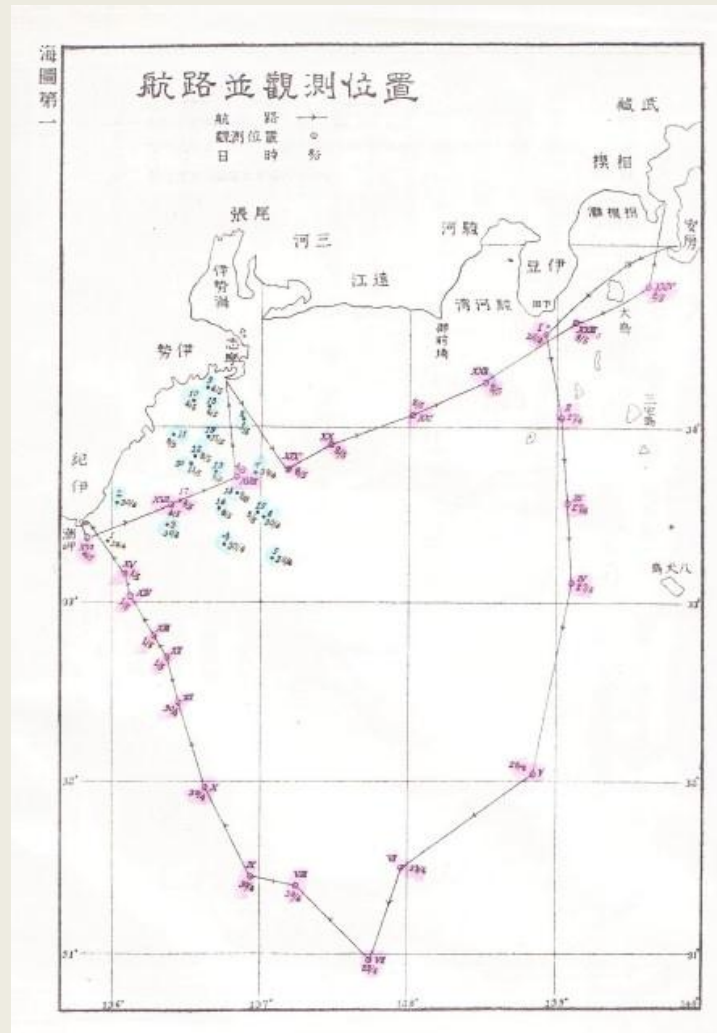


宇田道隆の講演用ビラ(Uda's Chart)

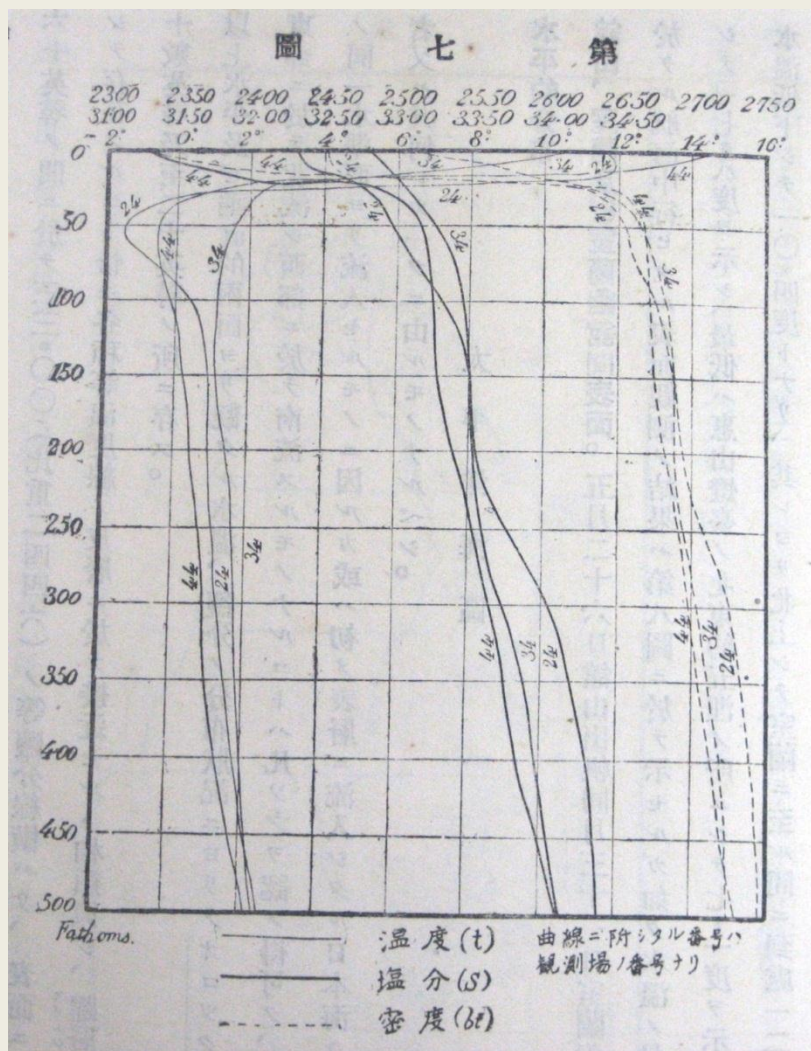
水産海洋観測の歴史的発展

- | | |
|--------------------------|---|
| 明治26 ^年 (1893) | 「瓶流」海流調査. 和田雄治博士 (水産調査会) |
| 33 (1900) | 全国5ヶ所沿岸定置観測開始 (水産局) |
| 34 (1901) | 赤沼徳郎 (水産局) 隼丸で東京湾, 相模湾観測. |
| 37 (1905) | 赤沼比重計考案. 比重 σ_{15} (塩分) 測定開始. |
| 42 (1909) | 岡村金太郎, 西川藤吉. 赤潮 フラクトン 査定.
北原多作 (水産局) 定線観測開始. |
| 大正 2 (1913) | 漁業基本調査講習會. 「漁業基本調査報告」刊.
丸川久俊 雲鷹丸の黄海東海漁場調査に硝酸銀 (水講) |
| 3 (1914) | 浅野彦太郎 (水講) [寺田寅彦指導] 海流力学計算.
塩素滴定法による海水塩分検定. |
| 4 (1915) | 丸川久俊 (同上) 雲鷹丸 (雲鷹丸 金華山沖 930 m. 深 T.S) |
| 5 (1916) | 電動測深機 Lucas, Sigsbee オホーツク海調査. 転倒温度計使用. |
| 7 (1918) | 水産講習所 海洋調査部 生る. 月報海洋図, 海洋調査報. |

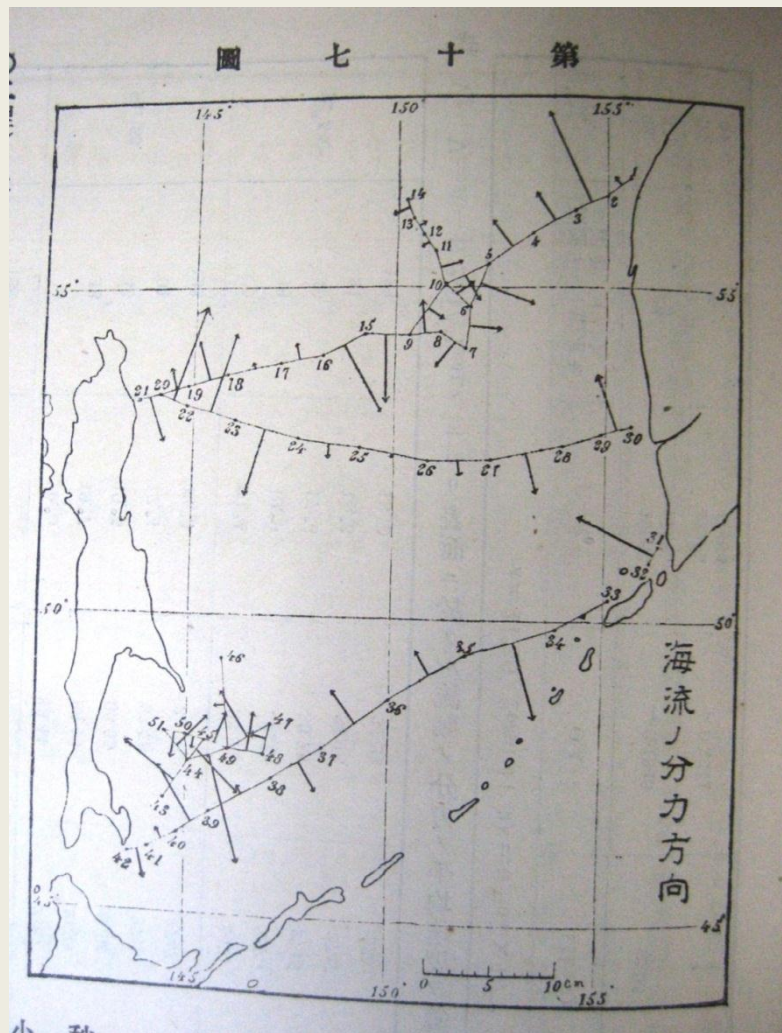
遠州灘沖 観測点図 第11次 大正3年4月～5月



オホーツク海 水温・塩分・現場密度の鉛直変化図

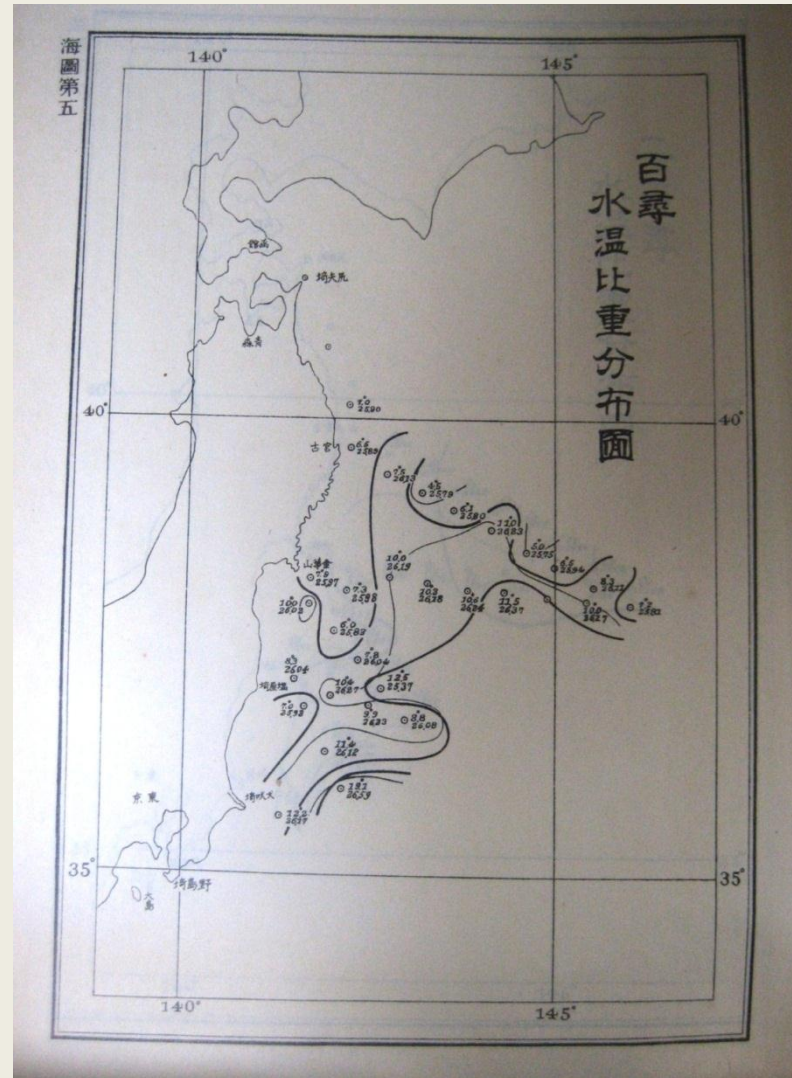


オホーツク海 流れ

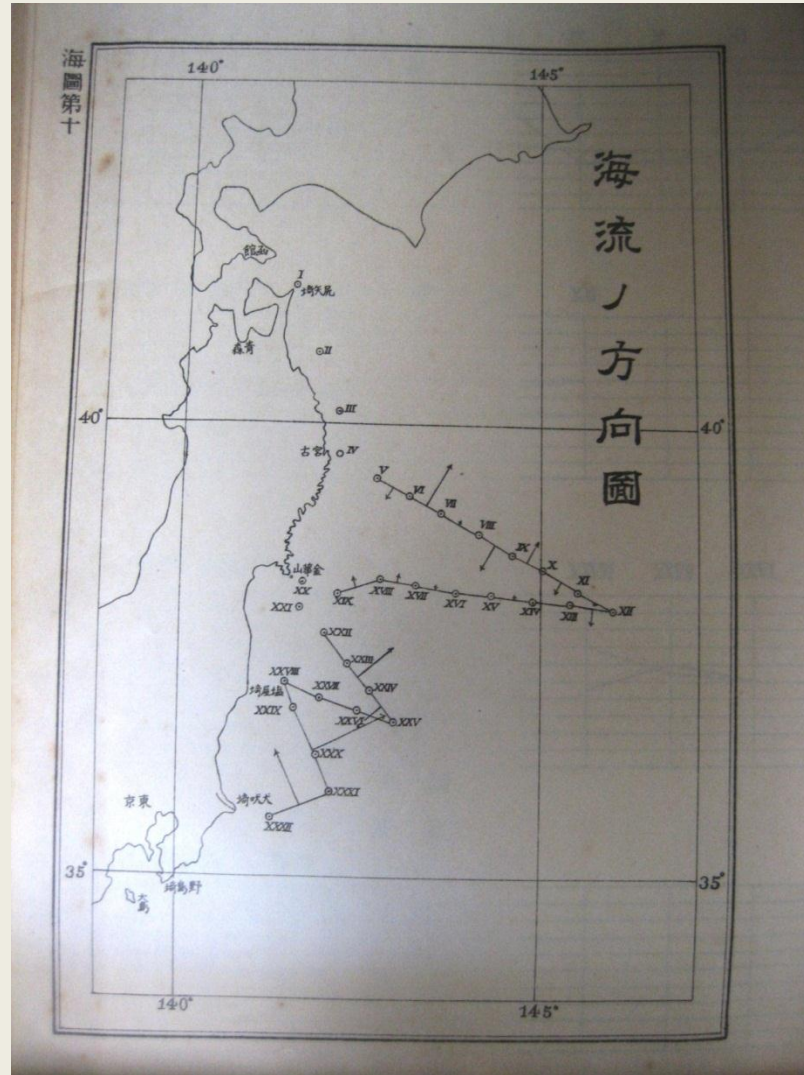


三陸沖 水温・比重 第13次

大正3年9月～10月

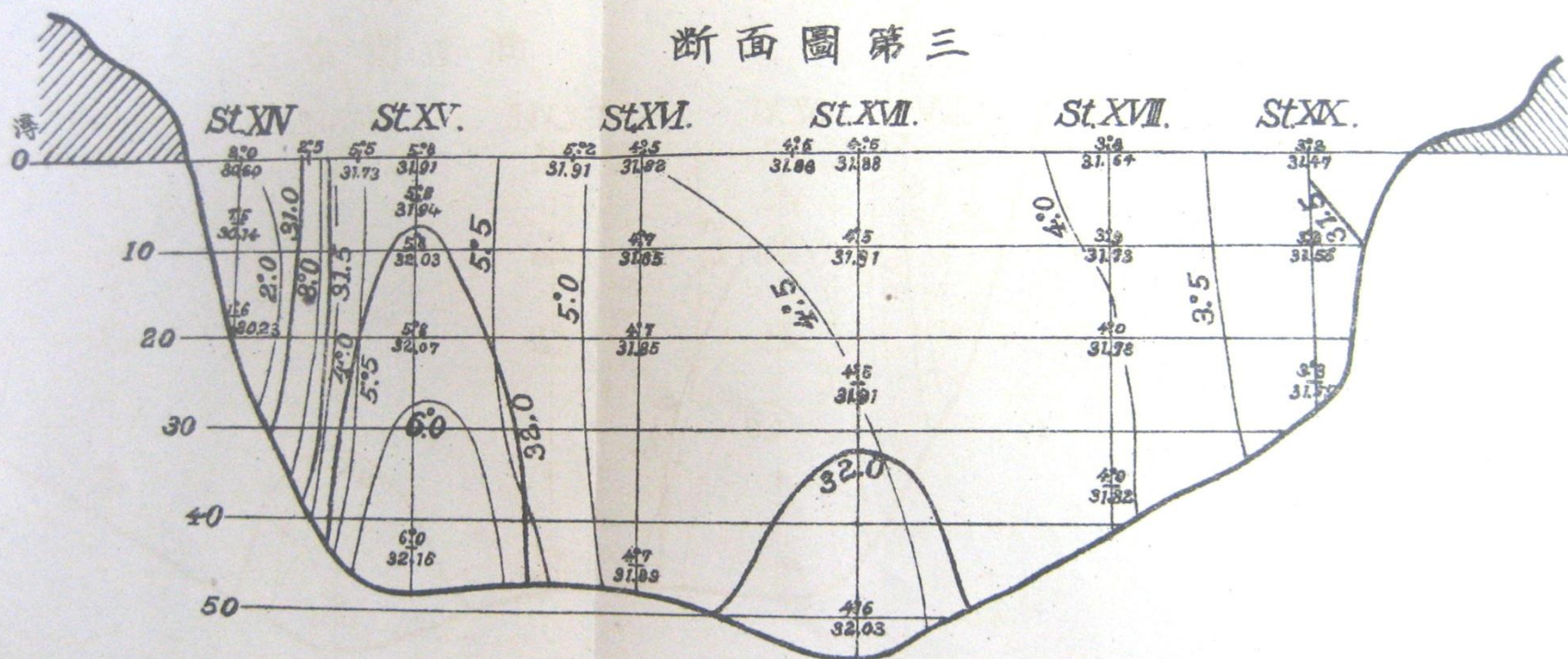


三陸沖 流れ



黄海 断面图 第14次 大正4年3月

断面图第三



雲鷹丸 第17次航海

オホーツク海 カムチャッカ半島西岸の生物調査

丸川久俊：オホーツク海金華山沖海洋、生物、漁場調査報告(雲鷹丸)
漁業基本調査報告 第7冊の2, 11-91, 1919

- 1. 漁場の広袤(こうぼう：ひろさ)、水深並に底質
- 2. 水温及び塩分の分布状態
- 3. 水産動物 魚類・甲殻類・軟体類・棘皮類
- 4. タラ 卵児及び産卵期 体長と体量との関係 食餌
- 海洋状態と魚体の大小並に漁獲率との関係 害敵及び疾病
- 5. サケ・マス 種類 年齢、生殖器及び壮成年齢との関係
食餌
- 各種類漁獲の割合と漁況
- 6. カレイ・ヒラメ及びタラバガニ 漁獲率及び生産量
- タラバガニの刺網漁獲率、雌雄の割合並に食餌

雲鷹丸 第14次航海 大正4年

黄海 ビームトロールによる生物調査

採集場	1	2	3	4	5	6	7
月日	3月9日	3月15日	3月16日	3月16日	3月20日	3月23日	3月23日
時刻	21-23	20-23	3-4	5-8	6-9	15-16	21-22
深さ(尋)	51-57	26	24-26	26	45	48	47
距離(海里)	4	6	2	6	6	1	2
グチ	108				478	3	
ニベ	3						
アカガレイ	7				27	76	4
アバチヤン	1		3				
ヤドカリ	2			2		7	32
アカニシ	2	1	10	12			
カレイ		23	70	125			3
サラサガジ		5	3	3	2	2	
ガンギエイ		8			9	9	
タコ		1					
タイラギ		1					
ヒトデ		10	8	11	106		1
シタビラメ			3				
タラ			4	3	64	34	
ネズミゴチ			5				
ババガレイ				1	19	5	1
ムシガレイ					6		
ヒラメ					40		1
ウシノシタ					5		
ソイ					8		
カナガシラ					5		
タチノウオ					4		
サムリ					3		
イカ					14		
クルマエビ					26		
メイタガレイ						2	
クモヒトデ						多数	多数
ハイドロゾア						多数	
イバラガニ							6

表 雲鷹丸航海の概要 1/2

航海	出航	帰港	航海日数	方面	漁業実習	海洋調査	主な寄港地
第1次	M42.5.8	M42.6.25	49	金華山沖	捕鯨		萩ノ浜
第2次	M42.7.10	M42.10.25	108	金華山沖 北洋	捕鯨 たら釣		室蘭 幌筵島 大泊 小樽 函館
第3次	M42.11.30	M43.3.28	119	南洋	さめ延縄 とびうお流網		クサイエ ポナペ サイパン グアム
第4次	M43.7.6	M43.10.21	108	北洋	捕鯨 たら手釣		室蘭 幌筵島 函館
第5次	M43.11.15	M44.3.26	132	朝鮮・北九州	捕鯨 さわら流網		釜山 方魚津 厳原 長崎 那覇
第6次	M44.7.8	M44.10.28	113	北洋	捕鯨 たら漁	◎	占守島 大泊 稚内 小樽
第7次	M45.3.2	M45.6.21	112	南シナ海	流網	◎	基隆 高雄 香港 マニラ 鹿児島
第8次	M45.7.10	T1.10.31	114	北洋	捕鯨 たら漁	◎	ニコライカ 幌筵島 大泊 小樽
第9次	T2.1.15	T2.6.22	159	北九州・朝鮮	漁業取締り	◎	長崎 博多 厳原 知世浦 釜山
第10次	T2.7.13	T2.10.18	98	北洋	かに刺網 たら漁	◎	大泊 小樽 占守島 幌筵島
第11次	T3.4.25	T3.5.14	20	本州南沖	[実施せず]	◎ 24点	和歌山大島 三重浜島
第12次	T3.5.17	T3.6.22	37	外房沖	かつお巾着網		下田 八丈島 伊豆大島
第13次	T3.7.9	T3.10.14	98	北洋・三陸沖	流網 トロル	◎ 32点	幌筵島 大泊 小樽 青森 函館
第14次	T4.2.17	T4.6.20	124	中国・南洋	まぐろ延縄	◎	木浦 青島 ポナペ サイパン
第15次	T4.7.10	T4.10.29	112	北洋・日本海	たら釣 トロル 流網	◎	根室 幌筵島 大泊 ウラジオ 函館
第16次	T5.3.2	T5.5.2	62	日向灘	まぐろ延縄		門司 油津 枕崎 長崎 下関
第17次	T5.5.27	T5.10.28	155	北洋・三陸沖	たら釣 トロル 流網	◎ 70点	幌筵島 大泊 敷香 小樽 函館
第18次	T6.5.24	T6.10.30	160	北洋・三陸沖	たら釣 トロル 流網	◎ 76点	函館 室蘭 幌筵島 大泊 小樽 鮎川

表 雲鷹丸航海の概要 2/2

航海	出航	帰港	航海日数	方面	漁業実習	海洋調査	主な寄港地
第19次	T7.5.30	T7.10.26	150	北洋	たら釣 流網		幌筵島 大泊 小樽 函館 鮎川
第20次	T8.5.25	T8.10.13	142	北洋	たら釣 かに刺網 流網		門司 釜山 ウラジオ 小樽 大泊 函館
第21次	T9.6.1	T9.12.13	196	南洋	かつお まぐろ		ポナペ パラオ シンガポール 香港
第22次	T10.6.1	T10.8.17	78	北洋	たら釣 トロール 流網		幌筵島 大泊 小樽 函館 釜石
第23次	T10.11.16	T11.3.18	123	南洋	まぐろ延縄 トロール		ハワイ サイパン 長崎 油津
第24次	T11.6.10	T11.9.2	85	北洋	たら釣 流網		宮古 幌筵島 小樽 函館 女川
第25次	T11.12.20	T12.3.3	74	南洋	まぐろ延縄 トロール		父島 那覇 上海 博多 下関
第26次	T12.6.11	T12.8.23	74	北洋	たら釣 流網 かに刺網		函館 小樽 大泊 室蘭
第27次	T13.5.14	T13.5.30	17	近海		◎	女川 宮古 釜石
第28次	T13.7.28	T13.8.14	18	近海		◎	女川 宮古
第29次	T13.11.4	T13.11.17	14	近海		◎	宮古
第30次	T14.6.20	T14.9.5	78	北洋	おひょう延縄 かに刺網 さけ流網		幌筵島 小樽 函館 女川
第31次	T14.11.3	T15.2.15	105	南洋	まぐろ延縄	◎	サイパン パラオ メナド 高雄
第32次	T15.5.1	T15.9.16	139	北洋	かに刺網 トロール 流網		幌筵島 ウスカムチャッカ ゼルヤ 大泊
第33次	T15.11.3	S2.2.26	116	南洋	まぐろ延縄 20回		ヤルト ホナハ サイパン 長崎 鹿児島
第34次	S2.6.11	S2.9.20	102	北洋	かに刺網 さけ流網 たら手釣 まぐろ延縄		幌筵島 ヘトロハウロク ゼルヤ 根室
第35次	S2.11.26	S3.3.21	117	南洋	まぐろ延縄 18回		ホカアック ビツカル クリスマス アルノ ホナハ
第36次	S3.6.17	S3.9.30	106	北洋	たら釣 流網 かに刺網		函館 根室 幌筵島 大泊 小樽

雲鷹丸に関する文献

- 「漁業基本調査報告」[P664-91] 第3冊 農商務省水産局(1913) 第4-8冊 水産講習所
- 楽水会「水産研究誌」[P660-74]
- 大日本水産会 「大日本水産会報」「水産界」[P660-72]
- 「水産講習所一覧」[P-18]
- 「東京水産大学七十年史」(1961)[092-1]
- 「東京水産大学百年史」(1989)[092-To46]
- 「楽水の人びと抄」(2005)[092-R12]
- 宇田道隆「海洋研究発達史」(1978)[452-Ka21-a]

東京海洋大学附属図書館 雲鷹丸の電子展示

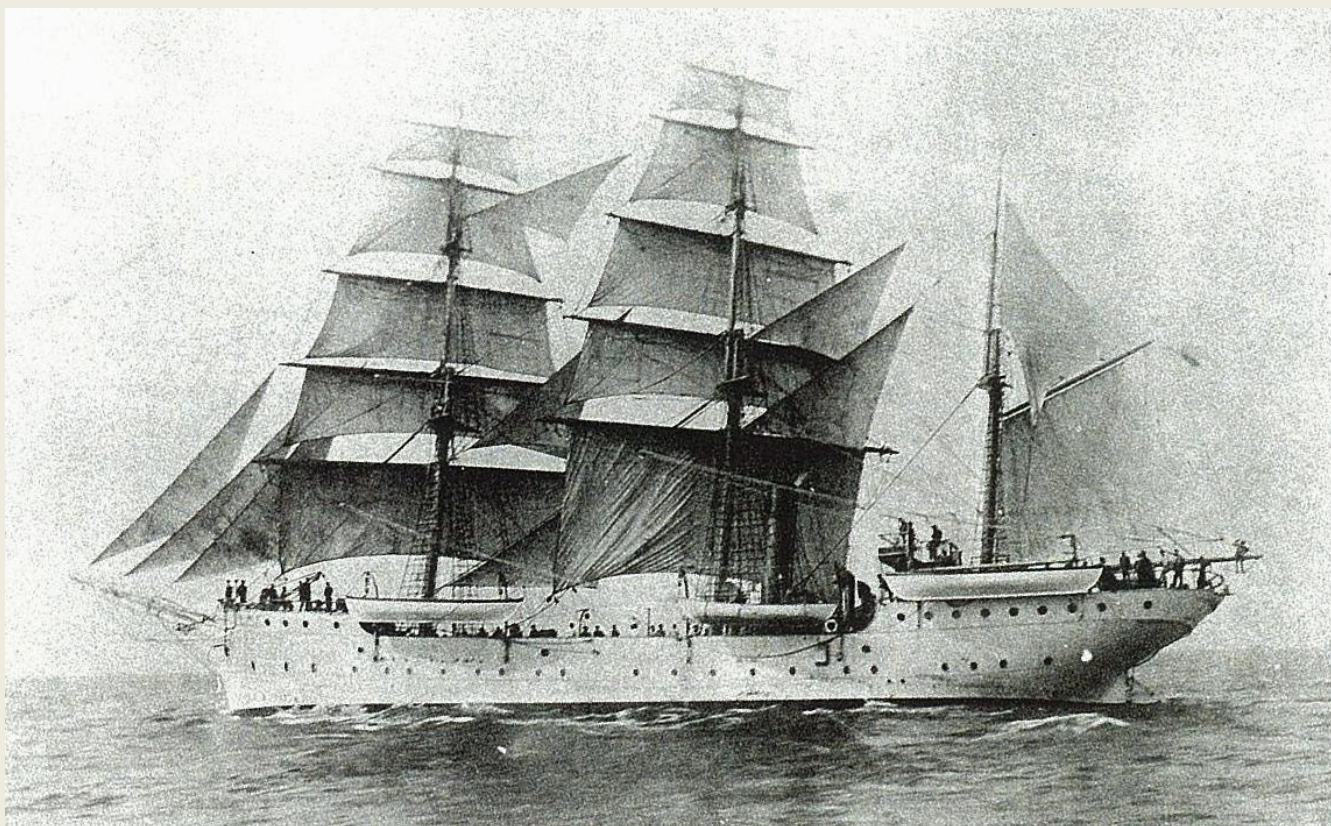
- 雲鷹丸資料 歴史 航海一覧 航海日誌翻刻 文献リスト
- 雲鷹丸基本資料 設計図 修復・整備工事関係
- 雲鷹丸写真資料 卒業アルバムなど36枚
- 東京海洋大学 → 附属図書館 → 展示/イベント → 電子展示 → 雲鷹丸

The collage shows the following navigation steps:

- 東京海洋大学 (Tokyo University of Marine Science and Technology)
- 附属図書館 (Library)
- 展示/イベント (Exhibitions/Events)
- 電子展示 (Digital Exhibition)
- 雲鷹丸 (Unyūmaru)

Key content visible in the screenshots includes:

- 品川キャンパス (Shinagawa Campus):**
 - 過去の展示 (Past Exhibitions):
 - ① 船回 松原古地図
 - ② 船回 水産動物図鑑・目録
 - ③ 船回 釣りの本 - 戦前までの資料を中心として
 - ④ 特別展示 天幕降下の魚鱗学について
 - ⑤ 船回 雲鷹丸の歴史 - 一航路百年記念展示
 - ⑥ 船回 水産講習所第三代会所長 伊谷以知一郎
 - ⑦ 船回 宇田通隆資料展
 - ⑧ 船回 よみがえる東北の水産産業 - 東日本大震災と水産の歴史
- 越中島キャンパス (Yoshinojima Campus):**
 - 過去の展示 (Past Exhibitions):
 - ① 船回 所蔵古地図等
 - ② 船回 明治丸所蔵資料等他大公開
 - ③ 船回 海へと広がる志
 - ④ 船回 前出お宝展
 - 電子展示 (Digital Exhibition):
 - ① 雲鷹丸
- 雲鷹丸 (Unyūmaru) Exhibition Page:**
 - 水産講習所第2代練習船、鋼製二層重甲板三本マストバーク(bark)型帆船
 - 船名: 唐の詩人陸龜蒙の「葦海上雲鷹、横空下霜鶴」(葦を翳って雲鷹上り、空を横ぎって霜鶴下る)による
 - 雲鷹丸資料(歴史、航海日誌翻刻)
 - 雲鷹丸の歴史
 - 雲鷹丸航海日誌の翻刻
 - 雲鷹丸基本資料
 - 雲鷹丸設計図
 - [大阪鉄工所二於て雲鷹丸造船中其機装具一切ノスケッチ]
 - 雲鷹丸修復・整備工事関係資料(昭和37(1962)、44(1969)-45(1970)年)
 - 雲鷹丸写真資料
 - 明治42(1909)年-昭和3(1928)年の卒業アルバム等からの写真資料



ご清聴ありがとうございました。